



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.69
令和6年 3月12日
文責：校長 酒井 健

◇すごいね！5年生パワー！卒業式会場作成・・・

3月7日(木)、5年生の子どもたちが、卒業式の会場作成に取り組みました。体育館全体にシートを敷いた後、その上を隅々までしっかりと雑巾がけをしてくれました。パイプ椅子、長机なども一生懸命に運び出し、着々と卒業式の会場ができあがっていきました。このような準備の時、よく「口は動かさないで、手を動かそう」などと言ってしまうものですが、5年生・・・すごいです。一人一人がめあてをもって、テキパキと動いていました。3月22日(金)には、5年生が準備をしてくれた、この体育館で、卒業証書授与式が行われます。

5年生の皆さん、大変すばらしい動きでした。本当にありがとうございました。



◇橋小学校「同窓会入会式」が行われました。

3月11日(月)、14時から集会室にて、「同窓会入会式」が行われました。「同窓会入会式」には、同窓会会長の土屋 繁之様をはじめとして、役員の皆様、PTA会長様がお越しになり、間もなく卒業する6年生の子どもたちへお祝いの言葉をかけていただきました。

男子28名、女子31名、計59名の子どもたちが、新たに橋小学校の同窓会に入ることになり、同窓会者数は、21,108名となります。

入会式の中で、児童代表として6年2組の菅野 涼空くんが新入会員の言葉を述べました。「これから、先輩方が築いてこられた歴史と伝統を受け継ぎ、感謝と奉仕の心を忘れずに、先輩方の姿に追いついていきたいと思います。」と、立派に話をすることができました。6年生全員、とても凛々しく見えました。



校長のひとりごと

昨日、3月11日(月)は、東日本大震災からちょうど13年目の日でありました。私たちにとって、決して忘れてはいけない日であります。ところで、皆さん、「釜石の奇跡」という言葉をご存知でしょうか。群馬大学片田敏孝先生が、震災前から釜石の小中学校の防災教室に関わっていたことで、犠牲者が誰もいなかった・・・奇跡とも言える避難をすることができました。私は、震災後、この片田敏孝先生の講演を聞きました。その時、特に感銘したお話は、◆何か起こった時に、「先生、どうしよう」「お母さん、どうしよう」では、命を守ることはできない。自分で・・・という『生き抜く力』が防災教育の原点です。◆本当の敵は、津波か？ いや、本当の敵は、自分自身である。誰かに「逃げなさい」と言われて「はい」と言って逃げるのか、それとも「ぼくは逃げる」と言って逃げるのか。◆防災教育の原則は、①想定にとらわれるな ②最善をつくせ ③率先避難者であれ である。

本物の方の言葉には重みがあり、心に響きました。学校では、これからも、子どもたちの安全・安心を第一に考え、「自分の身は自分で守る」ことができる防災教育を推進していきます。